



図 4.2 トンガタブ島で予測される高潮の氾濫域 (1m の海面上昇時)

出典：海面上昇とアジアの海岸

(1.0m の海面上昇のもとでサイクロンによる高波 (+2.8m) が発生すれば、相応の4 m の等高線以下の地域である首都ヌクアロファをはじめ島の北部は水没等の影響下に入ることが予想されている。)

表 4.1 トンガタブ島における水没と高潮氾濫の影響

分類	水没域			高潮の氾濫域		
	面積 (km ²)	居住地 (km ²)	人口 (人)	面積 (km ²)	居住地 (km ²)	人口 (人)
現状	0	0	0	23 (8.8%)	5	19,880 (31.3%)
海面上昇 0.3m	3 (1.3%)	1	2,700 (4.7%)	28 (10.6%)	6	23,470 (37.0%)
海面上昇 1.0m	10 (3.9%)	2	9,000 (14.2%)	37 (14.1%)	8	29,560 (46.6%)

面積と人口のパーセンテージは、それぞれトンガタブ島の面積と総人口に対するものである。

出典：海面上昇とアジアの海岸

(0.3m と 1.0m の海面上昇に対して、島の面積の各 1.3%、3.9% が水没し、人口への影響は各 4.7%、14.2% となる。また、1.0m の海面上昇のもとでサイクロンによる高波が発生すれば 14.1% の面積と、46.6% の人口が影響下に入ることが予測されている。)